

第1回宮崎県読書活動推進委員会 協議概要

発言者	発言内容
協議1 「生涯読書活動推進計画」のR5 年度管理指標の結果と分析について 協議1-1 読書離れの原因・要因と今後の手立てについて 協議1-2 「読書」についての整理 ※進行:竹内委員長	
事務局員 委員	<p>グループ1 (家庭における読書活動推進) の協議</p> <p>1-1 読書離れの原因 (数値が下がっている原因) と今後の改善への手立て (案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スマホ所持は原因として大きい。動画への慣れにより、現代の子どもは読書の間を嫌う。 ○ 読書離れに年齢段階がある。(小さいうちは、読書に興味あり。) ○ 現代の家庭の多忙化。疲れ。空間・時間・金銭的に余裕がない。 ○ 高校生は、読書の速度が速い。検索機能として使っている。読書により言葉の意味を理解し、自分の思いを持っているか、疑問。 ○ 読書の目的意識をもたせることが大切。 ○ 高校：朝の授業前の10分読書を実施。(参考：福島高校)。 小学校：低学年で冊数の目標を数値化。 ○ 外発的動機付け。図書館や本屋に行きたくなるしかけ作りが必要。 (例) 図書館や学校等でポイントイベント。(継続性、大人の理解。) (例) スタンプラリーで貸出図書館等を記録。 (例) 読書通帳作成、学校と図書館とが連携。本について新聞投稿掲載、感想の応募などで、ポイントが貯まると、500円図書カードが1枚もらえる。新聞会社とのタイアップ等。(参考：西都市) ○ 直木賞等の宮崎県版。 (例) 本をプレゼン、紹介する内容を競い表彰。高校まで系統的に。
事務局員 委員	<p>1-2 「読書」についての整理。漫画は読書に含めるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書としてふさわしいもの <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史の漫画、原作があるものを漫画化したもの。 ・ ビジネス書で、例えばNISAの話をも漫画化したもの。 ・ 源氏物語などや、小説がアニメになったもの。 ・ 「君たちはどう生きるか」の漫画版。漫画化でわかりやすい。 ○ 読書としてふさわしくないもの <ul style="list-style-type: none"> ・ 活字が少ない漫画は、読書に含めるのは難しい。
事務局員	<p>グループ2 (地域や大人における読書活動推進)</p> <p>1-1 読書離れの原因 (数値が下がっている原因) と今後の改善へ</p>

委員	<p>の手立て（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現行の管理指標の設定に課題があり、現在の読書の実態がくみ取れていない可能性有り。 <ul style="list-style-type: none"> ・管理指標に注釈を入れるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> （例）様々なメディアを組み合わせる。 （例）合わせて30分 ・朝一斉読書は、朝課外をやめる方向で考えると、逆行している。 ・「国語」の授業の読書も含める。 ・「取組」という表現より「家族で読書しているか」という表現のほうが、伝わりやすい。 ・家庭での読書に、図書館に連れていくことを入れるとよい。
事務局員 委員	<p>1-2 スマホやパソコンのインターネットは「読書」にはいるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読書としてふさわしいもの <ul style="list-style-type: none"> ・noteは読書に入る。 ・有料のもの。日経など、第三者の校閲や推敲が入っているもの。 ・Yahoo!ニュースなど、エビデンスがあるもの。 ・本の紙媒体と同じ。漫画や小説家からも学んでいる。 ・アンケートを取る人間が、これは読書、と捉えたら、読書。 ・ビジネス書、専門書もよい。 ○ 読書としてふさわしくないもの <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードの検索は、読書ではない。
事務局員 委員	<p>グループ3（読書バリアフリー）の協議</p> <p>1-1 読書離れの原因（数値が下がっている原因）と今後の改善への手立て（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 受動的なメディアや楽しみ方の多様化。選択肢の増加。 ○ 読書が能動的な活動のため、相対的にハードルが高くなったこと。 ○ 子どもたちの興味と本のマッチングのずれ。（ネットやウェブもあるが、本の情報や知識が得られる良さを大人が伝えていない。） ○ 読書バリアフリーが行き届いていない。 <ul style="list-style-type: none"> （例）視覚障がい：そのままの本では読めない、と相談あり。 <ul style="list-style-type: none"> ・職員側が対処方法を知らない。 ・録音図書、点字などを作成する読書バリアフリーの専門的人材の不足。公立図書館等での専門的人材の育成に課題。 ○ 現行の管理目標だけでは、読書バリアフリーの実現が難しい。 ○ 読書バリアフリーに繋がる手段を紹介 <ul style="list-style-type: none"> （例）裁断してスキャナで読み込みPDF化。

<p>事務局員 委員</p>	<p>手順がわかっているならば障がい当事者が自分でもでき、生涯読書活動に役立つ。</p> <p>(例) 管理指標に項目を追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国立国会図書館の登録をしているか」 ・「バリアフリー書籍をどれだけもっているか」等 <p>(参考：鳥取県)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し踏み込んだ管理指標が必要。 <p>(例) 読書バリアフリーについて周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館の登録（無料）。 ・デジタライズ図書はいつでも再生できコピーが自由。 ・視覚障がいだけでなく、他の障がい種の子ども達も使えること。著作権も認められていること。 ・全国のオンライン研修の情報提供。 <p>(国立国会図書館の研修等)</p> <p>○ 読書離れに対する手立てとして</p> <p>(例) 本の楽しみを知らない人に読書の楽しみを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YouTube 等の本要約チャンネル <p>(例) 図書館におけるマッチングの仕掛け。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による選書（子供たちの興味が増す） <p>1-2「読書」の整理。音声で聞くものについては読書に含めるのか？</p> <p>○ 読書としてふさわしいもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推敲され練り上げられているもの。 ・電子書籍で出版されている書籍。 ・ネットニュースなど（有料。要約、推敲あり） ・出版という形ではなくデータでもよい。電子だけの書籍もある。 ・漫画。学校図書館にあるサバイバル系、歴史など。 ワンピースやドラゴンボール等。カルチャーになっている。 ・学びがある漫画。友情もの。（読書への意欲や希望に繋がる） ・スマホやパソコン上で読める電子書籍。オンデマンド出版。 ・Kindle の自費出版 ・有料のメルマガなど、文化知識人が出すもの。 <p>○ 読書としてふさわしくないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場で、ただ話しているもの。
--------------------	---

発言者	発言内容
○ 協議2 電子書籍について 2-1 選書について 2-2 活用推進について ※進行:竹内委員長	
委員	協議2について グループ1 (学校関係者) ○電子書籍を探究学習に使いたい。 ○具体的にどの本がよいか決めるのは難しい。 ○小・中学校の教科書に掲載されている「おすすめの本」を導入してはどうか。 (理由) ・学校ごとで購入しようとするのが難しいため ・子ども達が興味を持ち読みたいと思うのでは。 ○幼稚園は、小さい子はデジタルよりも紙がいいという意見も出た。
委員	グループ2 (地域) ○考え方の一つとして ・県民のアンケート…商業的サービス。 ・書籍にアクセスできない…福祉的サービス。 ○司書による選書もよい。 ○導入後の検証を。 ○図書館に行かない親を電子書籍でどう巻き込むか。 ○読み聞かせにデジタルの大きな本が欲しい。
委員	グループ3 (読書バリアフリー) ○選書より、読み上げ機能が課題。 (例)・システムのボタン…視覚障害者は押せない。 ・拡大できるから読める…ではない。 ・ベンダーの選択が大事。 ○今回の計画に「すべての県民」とあり、その目的を果たすために、導入段階で差別解消法を考慮してほしい。(導入後の対応は難しい)